

特別研修

- 特別研修は受講を希望する職員を対象とし、自らのスキル・能力の向上を図ることを主な目的としています。
- 対象者のうち「希望する職員」とは、受講を希望する職員のうち、県職員の場合は所属長が承認した職員のことを、市町職員は研修担当課長が推薦した職員のことを言います。
- 講師は予定であり、変更する場合があります。
- 標準プログラムは目安を示したものであり、変更する場合があります。
- 研修名の前の「合同」は、県・市町合同の研修です。

区分	研修コード	研修名	
キャリア形成	615	合同	キャリアプランニング 集合
	770	市町	定年引上・再任用職員 オンライン
	826	合同	介護と仕事のライフデザイン 集合・オンライン
業務遂行	620	合同	アサーティブ・コミュニケーション オンライン
	921	合同	ファシリテーションスキル向上 オンライン
	920	合同	説明力向上 オンライン
	915	合同	クレーム対応 集合
	918	合同	やさしい日本語 集合
	935	合同	タイムマネジメント オンライン
	525	合同	データ分析・活用力 オンライン
	526	合同	ナッジ理論活用 集合
	215	市町	若手 集合
	937	合同	簿記基礎 オンライン
	955	合同	債権管理 集合
	940	合同	法制執務 オンライン
	960	合同	地方自治・公務員制度 オンライン
政策形成	520	合同	企画立案力 オンライン
	845	合同	行政におけるマーケティング 集合
	540	合同	中堅職員政策研究・実践マーケティング 集合
	550	合同	市町職員指導者養成 集合+オンライン
組織マネジメント	626	合同	チームマネジメント①（管理者） 集合+オンライン
	650	合同	監督者セミナー（メディア対応） 集合
	655	合同	監督者セミナー（課題解決） オンライン
	660	合同	監督者セミナー（メンタルヘルス） 集合
	680	合同	監督者セミナー（タイムマネジメント） オンライン
	685	合同	監督者セミナー（インバスケッ） 集合
	628	県	チームマネジメント②（監督者） 集合+オンライン
	730	県	人権問題職場研修推進員Ⅰ オンライン
	740	県	人権問題職場研修推進員Ⅱ 集合
	760	市町	人事評価 集合
経営改革	810	合同	自治体経営改革セミナー オンライン+集合
	850	合同	管理者特別（講演） オンライン

【集合】 合同・キャリアプランニング

● 研修のねらい

- ・モチベーションの源泉となる自己の強みや発揮したい能力、行動特性などを客観的に把握し、仕事に生かす方法を学ぶ。
- ・セルフアウェアネス（自己認識）を深め、自分のありたい姿を明確にすることで、自己の価値観を反映させたキャリアビジョンを設定し、行動レベルに具体化する手法を学ぶ。

● この研修のおすすめポイント

- ・やりたい仕事、中長期的な目標がない
 - ・やめたいわけではないけど、やりがいは欲しい
- 少し立ち止まって、「自分」や「仕事」を見つめ直してみたい人にお勧めです。

● 日程・開催場所

令和6年9月4日（水） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

36人（県14人、市町22人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《ニコトモ 山下 浩史》

同志社大学卒業後、日清オイリオ、GAP、リクルート、マツダを経て、社会人の教育格差をなくしたいという思いから、ニコトモ株式会社を設立。

リクルートでは人材開発トレーナーとして、様々な業界でマネジメント研修などを実施。マツダでは教育研修の責任者として、人材開発企画や各種研修（階層別研修、次世代リーダー育成、異業種交流研修）の体系構築、プログラム開発、ファシリテーションを実施。ニコトモ株式会社では、経営者、人事担当者との対話を積み重ね、人事制度の設計・運用支援や各種研修プログラムを設計・実施。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・キャリアプランニング

・どのように自己理解を深めるか

・キャリアビジョンに沿った行動計画の策定

【オンライン】市町・定年引上・再任用職員

● 研修のねらい

- ・定年引上げ、再任用職員としての心構えや組織において求められる役割を理解する。
- ・キャリアシフトチェンジの姿を描き、その実現に向けて自ら取り組むことを明確にする。

● 日程

- 第1回 令和6年4月22日（月）
- 第2回 令和6年4月23日（火）
- 第3回 令和6年4月25日（木）

● 予定人員

70人（46端末程度）×3回 計210人

● 対象者

（市町）定年引上職員〔60歳〕及び定年前再任用職員〔1年目〕

● 講師（予定）

《話し方教育センター 内田 由美》

生命保険会社での社内研修講師を兼任後、現在は、話し方教育センターの講師として、広く全国の自治体、企業、福祉団体等の研修にあたっている。再任用職員研修や接遇能力向上研修、クレーム対応研修など幅広く登壇している。

● 標準プログラム

- 1日 合計6.0時間
- 9:15 - 9:30 オリエンテーション
- 9:30 - 16:30
 - ・定年引上のとらえ方
 - ・スキルの棚卸
 - ・キャリアについて考える

【集合・オンライン】 合同・介護と仕事のライフデザイン

● 研修のねらい

- ・ライフイベントを迎えた職員が抱える不安を軽減するとともに、仕事や人生に対するモチベーションを高める。
- ・現状を乗り越えるヒントを得るとともに、自身の将来について前向きに考える。

● この研修のおすすめポイント

- ・現在介護中の方や、将来介護をする可能性のある方におすすめ。
- ・同じ不安を抱える方との悩み共有ができます。また、精神論だけでなく、介護支援サービスの解説も聞くことができます。

● 日程・開催場所

第1回 令和6年9月2日（月） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

第2回 令和6年9月3日（火） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

※オンラインでの参加も可能。

● 予定人員

40人×2回 計80人（県30人、市町50人）

● 対象者

（県・市町）介護予定・介護中の職員

● 講師（予定）

《キャリアレイズ 濱本 ひとみ》

金融系企業にて、社員教育インストラクターとして社内教育に従事。また、業界主催の接遇体験マナーコンクール全国大会で優勝。その後、絵本に関わる仕事などを経験し、現在は、株式会社キャリアレイズを立ち上げ、多くの官公庁、民間企業で幅広い人材教育に携わる。自身も、夫と共に障害を持つ息子の介護を行いつつ、母親の介護経験もあり、介護と仕事を両立させている。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:15 - 9:30 オリエンテーション

- 9:30 - 16:30
- ・仕事との両立に必要なこと
 - ・感情コントロールで前向きな両立へ
 - ・アサーティブな説得・交渉術で働きかける

◇受講者の声

- ・介護だけでなく、仕事でも役に立つ交渉スキルまで説明していただき、受講してよかったと思いました。
- ・講師御自身の経験を踏まえて介護の話事例として聞くことができた。また、高齢者への接し方と業務マネジメントを関連させ傾聴のテクニックもご教示いただけた。

【オンライン】 合同・アサーティブ・コミュニケーション

● 研修のねらい

- ・ 住民、上司、同僚、部下との対人関係を円滑にする技術を習得する。
- ・ アサーティブ（自分も相手も大切にしたい、誠実で率直で対等な表現方法）の考え方を学び、コミュニケーション力を高める。
- ・ 自らの事例を基にしたロールプレイングを通して、自己の感情や要求、意見の適切な表現方法を習得する。

● この研修のおすすめポイント

- ・ 自己主張したいけど、嫌われるのが怖い
 - ・ 話すのは苦手だけど、人の話を聞くのは苦じゃない
 - ・ 年上・年下の職員に仕事を頼むのが苦手
- 自分のコミュニケーションの癖を知り、言いづらいことでも率直に伝え、信頼関係を築いていく方法を学んでみませんか？

● 日程

令和6年12月9日（月）

● 予定人員

30人（県15人、市町15人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《特定非営利活動法人アサーティブジャパン 牛島 のり子》

特定非営利活動法人アサーティブジャパン事務局長・専属講師。全国各地の企業、自治体、病院、大学など幅広い分野において、アサーティブトレーニング研修を担当している。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:15 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・アサーティブネスの理論と自己点検

・アサーティブトレーニング（ロールプレイング等）

◇受講者の声

- ・ 会話の相手によって自分の対応が変わることが、新たな発見であった（これまでは誰に対しても弱気な態度だと思っていた）。
- ・ 自分の性格ではなく、練習することでコミュニケーションが変わっていくことが分かり、勉強になりました。

【オンライン】 合同・ファシリテーションスキル向上

● 研修のねらい

・チームのメンバーの力を引き出すための、ファシリテーションスキル（オンライン会議を含む会議やワークショップなどの場で、参加者全員で最善解を導き出すよう、中立的な立場で議論を進めていく手法）を習得する。

● この研修のおすすめポイント

・主催した会議が意見が出ず盛り上がらない
・会議で考えを伝えるのが苦手
・会議がいつもグダグダで結論が出ない
上手に会議を回せるようになりたいなど思っている方、安心安全で、効率的な会議の回し方、学べます。

● 日程

令和6年9月4日（水）

● 予定人員

36人（県14人、市町22人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《スキルノート 芹沢 壮一》

1997年金融機関入社後、人材開発部門でビジネススキル研修の開発・講師など企業内教育を担当。その後公益団体を市民や大学生向け社会教育を推進。これらの経験を活かし2013年に「スキルノート®」を設立し複業フリーランスとして教育分野で創業、自治体や非営利団体・企業等との連携による公開講座や研修を実施。専門領域はコミュニケーション・ファシリテーション・キャリアデザイン、オンライン活用。複数の立場を並立しながら、自分らしくはたき生きることを実践中。府中市NPO・ソーシャルビジネス個別相談アドバイザー。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:15 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・ファシリテーションとは
・ファシリテーションスキルの有用性
・ファシリテーションのスキル
・ファシリテーション演習

※ 今年度から、会議ファシリテーションスキルの向上を中心とした1日研修になります。

【オンライン】 合同・説明力向上

● 研修のねらい

- ・説明会や研修などで人前で話す際の基礎的なスキルを習得する。
- ・効果的なプレゼンテーションをする上で必要な表現技法（態度・姿勢、話し方、話す内容）の基本について実践的に学ぶ。

● この研修のおすすめポイント

- ・職場研修で講師になり説明する予定がある
 - ・住民説明会や市民講座の講師を任された
- せっかく用意した講義内容を、説明の仕方のせいで台無しにするのはもったいない。原稿を読んで終わりの講義にしないために、受講者を惹きつける講義手法を体得しましょう。

● 日程

第1回 令和6年7月8日（月）

第2回 令和7年2月14日（金）

● 予定人員

45人×2回 計90人（県36人、市町54人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《インソース 藤井 大介》

大手福祉用具輸入商社入社後、新たな成長を求め転職。大手環境機器メーカーからヘッドハンド、大手企業との新規取引成功後、取締役営業部長に。外資系医療材料メーカーに職を移し医療機関で各種勉強会や医局説明会を300回以上行い、常に成績はトップクラス。

関西弁とユニークな経験を基にした研修は、仕事のスキルアップに加え人生にも役立つスキルや知識にも触れ「飽きず、おもしろく、長い研修があつという間」と受講生の評価が高い。インソース人気講師として活躍する傍ら、社会保険労務士として独自に事業展開。

● 標準プログラム

1日 合計3.0時間

13:15 - 13:30 オリエンテーション

13:30 - 16:30 説明力向上

◇受講者の声

- ・インストラクションスキルを身につけたり、相手をプロフィールすることがいかに重要かということを知ることができた。
- ・今まではセミナーの登壇者になっても緊張し、原稿を読むことで精一杯でしたが、それではいけないと気づくことができました。「良い講師とは、参加者に行動を起こさせること」を意識して、教えていただいたテクニックを活用していきたいです。

【集合】 合同・クレーム対応

● 研修のねらい

・クレームに対応する能力の向上を図るため、基本的な姿勢やスキルを習得する。

● この研修のおすすめポイント

- ・住民からの苦情につい喧嘩腰になってしまう
- ・言われっぱなしで、自分の言いたいことが、伝えられない
- ・クレーム対応が怖い

避けては通れないクレーム対応。「精神力」で耐えるだけの毎日に限界を感じていませんか？自信をもってお客様に対応できる「スキル」を身に付け、ストレスから解放される接客方法を体得しましょう。

● 日程・開催場所

第1回 令和6年11月14日（木） 自治総合研修センター（光町庁舎）

第2回 令和6年11月15日（金） 自治総合研修センター（光町庁舎）

● 予定人員

50人×2回 計100人（県50人、市町50人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《イノベーション・スクエア 関根 健夫》

1988年株式会社アイベック・ビジネス教育研究所を設立。人材開発研修企画、コミュニケーション能力開発指導、コンサルティング、教材開発、各種マニュアル制作等を開始。日本経営協会専任講師、みずほ総合研究所講師、電話対応コンクール審査員を歴任。2021年株式会社アイベック・ビジネス教育研究所を解散後、イノベーション・スクエアを設立。著書に「公務員のためのクレーム対応マニュアル」（ぎょうせい）など多数。月刊「ガバナンス」誌にて「クレーム対応のワンヒント」連載中。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・クレームへの基礎知識

- ・クレーム対応スキル～聞き方・話し方
- ・クレーム対応への強化スキル
- ・さらにクレーム対応力を高めるために

◇受講者の声

・クレームと聞くと負のイメージだが、貴重なご意見と捉え方を変えて対応していきたい。
・大きなクレームに対しては、一人で抱え込まず職場で、報告・相談し共通認識を持って対応できるよう進めていきたい。

【集合】 合同・やさしい日本語

● 研修のねらい

・県内在住外国人に、自治体が発信する情報を確実に届けるため、行政窓口等で使う「分かりやすく、やさしい」日本語を習得する。

● この研修のおすすめポイント

・日本語を話せる外国人は、読み書きも完璧にできると思い込んでいませんか？
・在住外国人の7割以上が、大事なことは「やさしい日本語」で書かれてあれば理解できると答えています。
「やさしい日本語」は、日常的にも災害などの緊急時にも命を守る大切なツールです。

● 日程・開催場所

令和6年6月19日（水） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

30人（県10人、市町20人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《ひろしま国際センター日本語常勤講師 犬飼 康弘》

広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。在学中から地域日本語教室に参加するなど、地域との関わりを持つ。1997年より（公財）ひろしま国際センターにて日本語教育に従事。対象者は、留学生、技術研修員など様々。

地域においても、広島県内を中心に、日本語ボランティア講座等を担当。2015年度より一般財団法人自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、2016年度より文化庁地域日本語教育スタートアッププログラム日本語教育施策推進アドバイザーを務める。

● 標準プログラム

1日 合計3.0時間

13:25 - 13:30 オリエンテーション

13:30 - 16:30 ・やさしく言い換えるポイント

・言い換え練習・演習

◇受講者の声

・「やさしい日本語」を使う際のポイントを実感しながら学ぶことができた。
・「やさしい日本語」を習得するための最初の講座として、とてもよい講座でした。講師の方の説明も、日本語を外国人に教えておられるとあって、とても分かりやすかった。

【オンライン】 合同・タイムマネジメント

● 研修のねらい

- ・限られた時間の中で仕事を効果的・効率的に進める手法（仕事の優先順位をつけ、突発業務への対応を中心に、時間当たりの最適な業務成果を導き出す方法）を習得する。
- ・時間を上手にコントロールする方法を習得し、自己管理能力を高める。

● この研修のおすすめポイント

- ・「時間がない」が口癖になっている
 - ・さぼっているつもりはないのに、いつも締切ぎりぎりになってしまう
 - ・段取りを考えず仕事に手をつけてしまう
- 「やるべきことは分かるけど効率よく処理する術がわからない」すべての方、効率のよい時間管理法が学べます。

● 日程

第1回 令和6年12月10日（火）

第2回 令和6年12月11日（水）

● 予定人員

36人×2回 計72人（県42人、市町30人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《アイル・キャリア 五十嵐 康雄》

連日30人、年間200日登壇し続け、延べ受講者数は8万名超。2013年、海外で講師デビュー。2019年、会社と自分をマネジメントする仕事術が書籍化。『稼げる講師、稼げない講師どこが違うか』（あさ出版）2020年、東洋経済オンライン掲載記事が週間アクセスランキング第一位。世界最大の会員制人材開発組織 ATD（米国本部）のジャパンサミットで、2021年「DXと人材育成」、2022年「メタバースと人材育成」をテーマに登壇。ラジオを始め各種メディアにも出演、活躍の場を広げつつ、家族との時間、趣味の時間も楽しむ。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:15 - 9:30 オリエンテーション

- 9:30 - 16:30
- ・タイムマネジメント上手になるために
 - ・段取りとタイムマネジメントの基本
 - ・効率よく仕事を進めるヒント集

◇受講者の声

- ・昔からタイムマネジメントやスケジュール管理といったことに苦手意識があり、身構えて受講したが、わかりやすく取り組みやすい内容も多く非常に参考になった。
- ・web上での研修でしたが、グループ・ペアワークがあり主体的・積極的に参加できる研修会でした。

【オンライン】 合同・データ分析・活用力

● 研修のねらい

・データ分析の基となる統計学や論理的思考、批判的思考を学んだ上で、実際にエクセルを使い、課題解決に結びつける力を身に付ける。

● この研修のおすすめポイント

・データ分析に必要な仮説を立てる力をつけたい方におすすめ。
・オープンデータを活用したワークを通して、データ分析を体験できます。

● 日程

第1回 令和6年9月11日（水）

第2回 令和6年9月24日（火）

● 予定人員

36人×2回 計72人（県36人、市町36人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

※1人1端末（エクセル使用）を前提としています。

※基礎的な数式を扱える程度のエクセル初学者を想定しています。

● 講師（予定）

《日本マネジメント協会 韓 仙愚》

1989年より2011年まで、個人企業及び法人企業に対する経理指導や経理サポート、労働保険事務組合統括業務、経営、労務、相続、事業承継に関する相談業務等に従事。ファイナンシャルプランニング技能士資格取得を契機に、講師業務を開始し、2011年10月より2017年10月まで家業にて経理業務及び営業業務に従事した後、現在ファイナンシャルプランニング事務所ポグムプランニングを個人創業。「研修は楽しく気付きを得る場所」をモットーに、研修登壇をするとともに複数大学において資格対策講座講師も務める。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:15 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30

- ・データ分析の活用
- ・統計学と様々な数値
- ・納得させる伝え方
- ・仮説構築のポイント

・オープンデータを活用した分析ワーク（エクセル使用）

【集合】 合同・ナッジ理論活用

● 研修のねらい

- ・ 行動経済学・ナッジ理論※について、活用事例などを踏まえ理解する。
 - ・ ナッジを活用した、より効果的な事業施策への活用方法の基本スキルを資料作成演習により習得する。
- ※ナッジ(nudge)とは、「ひじでそっと押す」という意味。ひじをちょっとつついて「良い選択ができるように人々を手助けする」方法論です。

● この研修のおすすめポイント

- ・ 効果的な活用方法を学び、実践に繋がる資料作成演習も行います。研究と実践の第一人者の講義を聞ける貴重な機会をお見逃しなく！

● 日程・開催場所

令和6年9月6日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

36人（県16人、市町20人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《大阪大学特任教授（常勤） 大竹 文雄》

大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。専門は行動経済学・労働経済学。格差問題の実態と原因を実証した著書『日本の不平等—格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞等を受賞。著書多数。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・ 行動経済学・ナッジ理論の基礎知識

・ 自治体の活用事例

・ ナッジを活用した問題解決・資料作成・演習

◇受講者の声

- ・ 最初の講義がかなりボリュームがありましたが、もっと聞きたかったくらいです。事例紹介は、身近な事例でとても分かりやすかったです。
- ・ 事前学修動画の復習となる内容があり、理解が深められました。わかりやすい事例が多数であったこと、また、各職場に適応したワークの内容であったことでかなり自分事として考えられることができました。

【集合】市町・若手

● 研修のねらい

・仕事を効率的に進めるため、時間管理や職場のコミュニケーションの実践的なスキルを身につける。

● この研修のおすすめポイント

・話を聞くだけでなく、グループワーク中心の研修です。
・楽しみながら学んで、コミュニケーションのスキルも身に付けることもできます。

● 日程・開催場所

第1回	令和6年11月18日（月）	自治総合研修センター（光町庁舎）
第2回	令和6年11月19日（火）	自治総合研修センター（光町庁舎）
第3回	令和6年11月22日（金）	自治総合研修センター（光町庁舎）
第4回	令和6年12月2日（月）	福山会場
第5回	令和6年12月4日（水）	福山会場
第6回	令和6年12月5日（木）	福山会場

● 予定人員

51人×6回 計306人

● 対象者

（市町）在職概ね2年目の一般職員

● 講師（予定）

《創研 西原 裕》

宮崎産業経営大学経営学部卒業。中小企業診断士資格取得後、中小企業総合事業団大学校で客員研究員、産業能率大学の委嘱講師等経験。(株)創研入社後経営企画室室長を経て2000年代表取締役就任。再生協議会のメンバーとして中小企業庁の企業再生事業に参画。現場視点で実践的・具体的な再生計画を提言。鉄道・ホテル・光学機器メーカー・自治体等幅広い領域からの支援要請が多い。公的機関の診断、経営革新指導、セミナー講師等多数経験。特にセミナー・研修では受講者を参画させる「聴き手を巻き込む」手法で評価が高い。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間
9:25 - 9:30 オリエンテーション
9:30 - 16:30 仕事の効率的な進め方

◇受講者の声

・効率化、DXに繋がる明日から実践していきたい内容がたくさんある有意義な研修でした。
・最近聞いた講義が一番良かった。こんなにも全員が参加して前のめりになる明るい講義は初めて受けた気がした。感動です。
・他の人の業務やその問題点について知ることもでき、他業務の方と関わることで、とても参考になりました。

【オンライン】 合同・簿記基礎

● 研修のねらい

・地方公会計制度、公営企業会計及び各種法人会計の基礎知識となる簿記（簿記検定3級程度レベル）の基本的な知識を習得する。

● この研修のおすすめポイント

・病院や水道等の企業会計を担当している
・法人指導をするので、会計の基礎を学びたい
・簿記3級を取得し業務に生かしたい
大手予備校LECの講師が2日間じっくり解説。eラーニングと参考書も配付し、自主学習も応援します！

● 日程

令和6年8月20日（火）～8月21日（水）

※希望者には、eラーニング教材をあわせて提供します。（研修前～研修後までの計3か月）ただし、eラーニング（約3～4時間（予定））を最後まで受講（修了テストを受検）できる方に限ります。

● 予定人員

100人（県40人、市町60人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

※業務で複式簿記に接する機会のある職員対象です。

● 講師（予定）

《東京リーガルマインド 小橋 仙敬》

東京リーガルマインド講師。大手監査法人勤務を経て小橋公認会計士総合事務所入所。同所代表取締役副所長。自治体職員研修「管理会計研修」「財務会計研修」などの講義を担当。

● 標準プログラム

2日間 合計12.0時間

※本研修は、実務を理解するために必要となる会計・簿記の基礎知識の習得をねらいとしていますので、日商簿記3級の範囲を網羅しているわけではありません。知識のない方は、事前にeラーニングを受講することを推奨します。

1日目 9:15 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・簿記の全体像・仕訳と転記

2日目 9:30 - 16:30 ・決算整理・実務応用仕訳

◇受講者の声

・会計伝票の審査や例月出納検査の対応等、様々な業務に活用できると思います。
・序盤の「仕訳」について、基本的な考え方から実例までウェイトを置いた感じで入念に説明された点が、分かりやすくなっていたように思います。

【集合】 合同・債権管理

● 研修のねらい

・税の滞納処分の例によることができない債権について、債権管理・回収の能力の向上を図る。

● この研修のおすすめポイント

・差押えや回収のための交渉について一から学びたい
・他市町の取組を知りたい
・債権回収のマニュアルがない
・自力執行権のない債権の回収テクニックを学びたい
介護保険料、保育料、下水道使用料、生活保護返還金など、税外債権回収に関わる方必修の研修です！

● 日程・開催場所

令和6年8月30日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

60人（県18人、市町42人）

● 対象者

（県・市町）税の滞納処分の例によることができない債権の管理・回収事務を担当する職員

● 講師（予定）

《森高法律事務所 弁護士 松田 健之介》

2015年12月～2019年3月 東広島市法務専門員（特定任期付職員）として勤務。庁内の法務相談を主に担当し、情報公開、個人情報保護の業務にも携わった。現在 森高法律事務所（東広島市）で業務を行うとともに東広島市法務専門監（会計年度任用職員）としても勤務。広島弁護士会の会員で構成される公金債権法務研究会に所属し、公金債権関連分野の研究を積みながら、研修の講師も務めるなど公金債権に関する業務も積極的に取り扱う。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・債権回収の実務（発生から消滅まで）

・債権管理手法（時効管理、相続人の探し方等）

・債権回収折衝のポイント

・事例研究

【オンライン】 合同・法制執務

● 研修のねらい

・ 条例・規則の基礎知識を学び、法の形式や用語の使い方等の独特のルールを身につけ、法の読み方・作り方の基礎を習得する。

● この研修のおすすめポイント

・ 法律の言葉になじみがない
・ 「及び、並びに」の使い分けが分からない
・ 条例・規則を改正しなくちゃいけないけどどうしよう
一つでも当てはまった方は受講必須。条例・規則の担当者はもちろん、法律の勉強をしたことがない方、条例や規則の読み方をもっと知りたい方、大歓迎です。

● 日程

令和6年9月5日（木）

● 予定人員

80人（県10人、市町70人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《ぎょうせい 岩井 優多》

株式会社ぎょうせい法令例規事業部法制ソフト課主査。これまで地方公営企業会計制度改正、マイナンバー制度導入、会計年度任用職員制度導入、地方公務員の定年延長、個人情報保護制度の見直しなどに伴う例規整備支援業務に従事したほか、法令トピックスの執筆、法令改廃情報提供業務、法制執務相談業務を担当している。また、多くの市町で法制執務研修講師を担当。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:15 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・ 法制執務について

・ 法の仕組

・ 条例・規則の立案方式

・ 演習

【オンライン】 合同・地方自治・公務員制度

● 研修のねらい

- ・ 地方自治法、地方公務員法及びその関連法の解釈、運用について基礎的な知識を習得する。
- ・ 地方自治の仕組み、今後の地方自治体のあり方及び地方公務員制度の仕組みについて理解する。

● この研修のおすすめポイント

- ・ 国・都道府県・市町村の役割分担
 - ・ 議会・教育委員会・監査委員の仕組み
 - ・ 公務員の義務・責任
- 初任研修で説明されたはず、学校で習ったはずだけど思い出せない…今こそ学び直しのチャンスです！

● 日程

令和6年9月12日（木）～13日（金）

● 予定人員

100人（県30人、市町70人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《広島修道大学 澤 俊晴》

大学卒業後、広島県入庁。政策研究大学院大学や総務省に派遣後、総務局経営企画チーム等に配属。広島県を退職後、山陽学園大学地域マネジメント学部准教授。2022年4月より広島修道大学国際コミュニティ学部教授。専門分野は政策法務論、地方自治法、行政法。著書に『通る起案はここが違う！公務員の文書起案のルール』（学陽書房）など多数。

● 標準プログラム

2日間 合計12.0時間

- | | | |
|-----|---------------|-----------------------------------|
| 1日目 | 9:15 - 9:30 | オリエンテーション |
| | 9:30 - 12:00 | ・ 地方公共団体の種類と意義・地方公共団体の事務 |
| | 13:00 - 16:30 | ・ 議会と長・行政委員会と委員・住民の地位と権利 |
| 2日目 | 9:30 - 12:00 | ・ 国と地方の関係・地方財政 |
| | 13:00 - 16:30 | ・ 地方公務員の範囲・地方公務員の義務と責任・地方公務員の勤務条件 |

◇受講者の声

- ・ 講師の説明がわかりやすく、実例も多く交えた内容で大容量でも理解することができました。自分の勉強や経験だけでは取り得れない知識を習得することができ、参加してよかったと思える研修でした。
- ・ 普段読むと堅苦しい法律の条文を分かりやすく解釈することができました。個人的には知識を再整理できてよかったと思う。

【オンライン】 合同・企画立案力

● 研修のねらい

・ 事業・施策・政策の企画立案におけるポイントと技法を理解し、成案としてまとめる実践的ノウハウを習得する。

● この研修のおすすめポイント

・ 現状把握・データ分析・課題解決の手法から自治体の豊富な事例紹介まで、政策立案の基本知識が身に着く研修です。
・ 政策立案の予定がなくても、豊富な事例を得られて本当に勉強になりおすすめです！

● 日程

令和6年8月5日（月）～8月6日（火）

● 予定人員

36人（県18人、市町18人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《関東学院大学 牧瀬 稔》

民間企業、横須賀市都市政策研究所（横須賀市役所）、（公財）日本都市センター研究室、（一財）地域開発研究所を経て、2017年から関東学院大学法学部に勤務し、現在教授。関東学院大学地域創生実践研究所長、社会構想大学院大学コミュニケーションデザイン研究科特任教授等を兼ねる。

専門は自治体政策学、地域政策、行政学で、市区町村のまちづくりや政策形成に広く関わっている。著書に、『牧瀬流まちづくりすぐに使える成功への秘訣』（経済調査会）『地域づくりのヒント』（社会情報大学院大学出版部）など多数

● 標準プログラム

2日間 合計12.0時間

1日目 9:15 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 12:00 ・ 問題発見の視点
・ 人口減少に対応する政策事例

13:00 - 16:30 ・ データ収集・分析の視点
・ 演習（テーマ設定・課題分析）

2日目 9:30 - 12:00 ・ 特徴的な政策事例・地域活性化の政策事例

13:00 - 16:30 ・ 政策づくりの基本的技法
・ 演習（企画検討・企画立案）
・ 発表

◇受講者の声

・ 一気に考え方の基本から実務までを学んだので、非常に学びが多かった。
・ 若い職員・ベテラン職員問わず役立つ内容だと思いますので、他の職員におススメしたいです。

【集合】 合同・行政におけるマーケティング

● 研修のねらい

・行政の施策立案や行政サービスの提供に役立つ、マーケティング・ブランディングの視点・技術を習得する。

● この研修のおすすめポイント

“広島県の強み、押し”を有効活用して県民の幸せ向上を！

- ・観光客を増やしたい
- ・採用試験の応募者を増やしたい
- ・地元の地産品を売り出したい
- ・移住者を増やしたい

マーケティングは企業がもの売るためだけじゃない。住民、企業、観光客、など、対象を巻き込む部署の方は必修の研修です！

● 日程・開催場所

令和6年8月9日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

20人（県10人、市町10人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《広島県 CBO 山田 精二》

修道高校、早稲田大学政治経済学部卒業後、キンビール入社。酒類や飲料のマーケティングを担当し、数多くの商品開発等を手掛ける。2020年広島県CBOに就任。「国内外から選ばれる広島県」の実現に向けた取組の推進や、県職員を対象としたマーケティング研修等を数多く実施。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・行政におけるマーケティング

・ブランディングの理解

・マーケティングスキルのワーク

◇受講者の声

- ・演習を通して実例について詳しい解説があり、わかりやすかった。
- ・マーケティングは、職場の全部署で取り組むべきであることがよくわかりました。民間企業だけではなく、行政においても、住民目線でサービスを考えることで、広島県のブランド力を高められることが実感でき、自分の仕事のモチベーションにつながりました。

【集合】 合同・中堅職員政策研究・実践マーケティング

● 研修のねらい

・マーケティングに必要な考え方やスキルを学び、業務への活用を目的として、これからの地域経営を担う自治体のリーダーとして必要な能力を総合的に習得する。

● 日程・開催場所

【第1回】

令和6年4月25日（木） オンライン（ガイダンス）
令和6年5月10日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年5月24日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年6月7日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年6月21日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年7月18日（木） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

【第2回】

令和6年7月19日（金） オンライン（ガイダンス）
令和6年8月8日（木） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年8月23日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年9月6日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年9月20日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年10月18日（金） 自治総合研修センター（光町庁舎）

● 予定人員

16人（県8人、市町8人）×2回 計32人
※民間から1名参加予定（いずれかの回次）

● 対象者

（県） 概ね35歳までの職員
※受講生は局単位で推薦する。
（市町） 概ね40歳までの職員
※入庁10年目程度の職員

● 講師（予定）

≪広島県 CBO 山田 精二≫

修道高校、早稲田大学政治経済学部卒業後、キンビール入社。酒類や飲料のマーケティングを担当し、数多くの商品開発等を手掛ける。

2020年広島県 CBO に就任。「国内外から選ばれる広島県」の実現に向けた取組の推進や、県職員を対象としたマーケティング研修等を数多く実施。

● 標準プログラム

5日間 合計30.0時間

※受講開始前に、ガイダンス（1時間）をオンラインで実施する。
※受講終了後、事業の実現に係る伴走型支援を行う。

9:30		12:00 13:00		16:30
1日目	開講 マーケティング基礎【講義】 ・マーケティングについて学び、体感し、理解を深め基礎をつくる		マーケティング基礎【講義】	
2日目	グループ課題検討 ・行政課題をテーマに、各グループで討議の上、解決プランを磨き上げる。		グループ課題検討・発表 ・グループ課題について、各グループから発表。	
3日目	個人課題共有・討議 ・グループ内で各自の課題（担当業務の課題）の解決プランについて、意見交換を行う。		個人課題検討・討議 ・意見交換を踏まえ、発表に向けて必要な修正を行う。	
4日目	個人課題検討・討議（随時講師面談） ・グループ内で個人課題について、意見交換を行う。 ・講師による個人面談・フィードバックを行う。		個人課題検討・討議（随時講師面談）	
5日目	研究発表 ・各自、個人課題について発表を行う。		研究発表・講評 ・各自、個人課題について発表を行う。 ・講師からの講評。	振り返り 閉講

※随時、グループ毎の自主研修・講師からのフィードバックを行う。

※ 受講開始前ガイダンス（13:30～14:30）

各自の業務を研究課題とするため、受講生及び職場の上司等を対象に、研修のねらいと支援について説明等を行う。（オンラインで1時間程度）

※ 伴走型支援

研修終了後、2回（1か月後に1回目、2か月後に2回目）程度、県の施策形成支援チームによる事業コンサルティング※1との連携がある予定。市町の職員も希望すれば、県のチームによるコンサルを受けることができる。

※1 事業コンサルティング

研修中に各自が設定した課題を、研修後に職場で実践できるようにするための、専門家等による伴走型のコンサルティング。

【集合＋オンライン】合同・市町職員指導者養成

● 研修のねらい

- ・これからの地域経営を担う自治体のリーダーとして必要な能力を総合的に習得する。

● 日程

令和6年7月17日（水）～7月19日（金）	自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年7月22日（月）～7月24日（水）	自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年7月25日（木）～7月26日（金）	オンライン
令和6年7月29日（月）～7月30日（火）	オンライン
令和6年7月31日（水）～8月2日（金）	自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）
令和6年8月8日（木）～8月9日（金）	自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

24人（県6人、市町18人）

● 対象者

（県） 概ね35歳以上の職員

※ 受講者は局単位で推薦する。

（市町） 係長（特に認めた主任を含む）以上で概ね45歳までの職員

● 講師（予定）

《経営マネジメント（マーケティング） 県立広島大学大学院 江戸 克栄》

県立広島大学大学院経営管理研究科（HBMS）教授。株式会社サーベイリサーチセンター顧問、株式会社リスペクトインスティテュート主任研究員として多くの企業や自治体のマーケティング及びマーケティングリサーチに参画。

戦略研究学会元理事、地域デザイン学会理事、中央大学非常勤講師、講演や研修など多数。

● 標準プログラム

15日間 合計104時間

★オンライン

	9:00	9:30	12:00	13:00	17:00
7/17 (水)		開講式 政策形成手法 県職員			リーダーシップ 日本経営協会 西嶋 衛司
7/18 (木)		経営マネジメント（マーケティング） 県立広島大学大学院 江戸 克栄			経営マネジメント（マーケティング） 県立広島大学大学院 江戸 克栄
7/19 (金)		経営マネジメント（マーケティング） 県立広島大学大学院 江戸 克栄			経営マネジメント（マーケティング） 県立広島大学大学院 江戸 克栄

	9:00	10:40	12:00	13:00	15:40	17:00
7/22 (月)		政策課題研究 県職員			DXへの取り組み 叡啓大学 土本 康生	
7/23 (火)		企業に学ぶ 広島県観光連盟 山邊 昌太郎	政策課題研究 県職員		政策課題研究 県職員	研究テーマ発表 県職員
7/24 (水)		政策課題研究 県職員			政策課題研究 県職員	
7/25 (木) ★		データ分析・活用力 データミックス			データ分析・活用力 データミックス	
7/26 (金) ★		政策課題研究 県職員			政策課題研究 県職員	

	9:00	12:00	13:00	17:00
7/29 (月) ★		政策課題研究 県職員		政策課題研究 県職員
7/30 (火) ★		政策課題研究 県職員		中間発表 県立広島大学大学院 江戸 克栄 県職員
7/31 (水)		政策課題研究 県職員		政策課題研究 県職員
8/1 (木)		政策課題研究 県職員		政策課題研究 県職員
8/2 (金)		政策課題研究 県職員		政策課題研究 県職員

	9:00	10:40	12:00	13:00	14:40	16:30	17:00
8/8 (木)		政策課題研究 県職員			研究発表・講評 県立広島大学大学院 江戸 克栄 県職員		
8/9 (金)		政策課題研究 (振り返り) 県職員	これからの広島県 県職員		私のまちづくり 市町首長	座談会 閉講	

◇受講者の声

- ・ 講義では、専門的な内容から、自分の業務に直結する内容のものもあり大変勉強になりました。
- ・ 一つの課題をグループで討議し、政策提案していく過程がとても充実感があった。

【集合＋オンライン】 合同・チームマネジメント① (管理者)

● 研修のねらい

・対話を通じた、安心安全な場づくりについて体験から学び、管理者としてのマネジメントの在り方やチャレンジを共有することで、職場での実践を促す。

● この研修のおすすめポイント

「思い」は「行動」によって実現していきます。研修内では、明日からの行動をプランし、研修後に各職場で実践を記録し、実際に組織がどう変わっていったのかについてオンラインでもう一度チームで振り返る機会を持ちます。研修を「受講した」だけでなく、職場へのインパクトまで実感できる研修です。

● 日程・開催場所

令和6年7月30日(火) 自治総合研修センター(朝日生命胡町ビル)
令和6年9月10日(火) オンライン(1時間)

● 予定人員

36人(県15人、市町21人)

● 対象者

(県) 本庁、地方機関の課長及びこれに相当する職以上にある職員
(市町) 課長及び課長相当職以上の職員

● 講師(予定)

《GiFT partners 鈴木 大樹》

慶応義塾大学大学院経営管理研究科修士課程(MBA)、CIIS(California Institute of Integral Studies)臨床心理学修士課程修了。コンサルティングファーム、コーチエィなどを経て、「(株)GiFT partners」の代表取締役、「(一社)グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)」の理事を務める。エグゼクティブ・コーチとして、数多くの経営者への1on1コーチングを手かけ、ファシリテーターとしても国内外で「学びと協働の場づくり」に携わっている。文科省「トビタテ!留学 JAPAN」事前・事後研修講師、大学院大学至善館/ISLの統括コーチ。

● 標準プログラム

2日 合計7.0時間

1日目 9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・場づくりのマインドセットとスキル

・安心安全な場づくり

・チームづくりに向けて(コーチングスキルを学び、使う)

2日目 15:15 - 16:15 振り返り(オンライン)

◇受講者の声

・課内の雰囲気が和らぎ相談しやすい雰囲気をつくることができた。
・コミュニケーションがこれまで以上に図れるようになり、職員の表情等から、業務に対する意欲や体調等の変化に気づけるようになった。職場の雰囲気が以前にも増して明るくなった。

【集合】 合同・監督者セミナー(メディア対応)

● 研修のねらい

- ・ 監督者（グループリーダー・係長、課長補佐等）のリスクマネジメントを学ぶ。
- ・ 事故や不祥事など危機発生時のクライシスコミュニケーションのスキルを身につけ、メディア対応力を高める。

● この研修のおすすめポイント

準備は必要だけど、時間がない！それがメディア対応
不祥事等で記者会見をすることになったときの記者への対応、姿勢や発言の視点、進行の仕方について、横浜市危機管理広報アドバイザーの講師が手厚く具体的にアドバイスします。（福山会場での開催もあります。）

● 日程・開催場所

- 第1回 令和6年11月13日（水） 福山会場
第2回 令和6年11月19日（火） 自治総合研修センター（光町庁舎）

● 予定人員

36人×2回 計72人（県12人、市町60人）

● 対象者

- （県） グループリーダー、係長、主査及びこれに相当する職以上にある職員
（市町） 係長及び係長相当職（専門員、企画員等）以上の職員〔係長等歴概ね5年以上〕

● 講師（予定）

《日本経営協会 宇於崎 裕美》

PR会社勤務を経て、企業広報とマーケティング、危機管理広報のコンサルタントとして1997年に独立。国内外の官公庁、企業、大学等で広報やクライシス・コミュニケーションに関する講演や、メディアトレーニングを実施。横浜国立大学非常勤講師。2022年11月、横浜市危機管理広報アドバイザー就任。

● 標準プログラム

- 1日 合計6.5時間
9:25 - 9:30 オリエンテーション
9:30 - 17:00 ・リスクマネジメントの基礎
・クライシスコミュニケーションの原則
・メディアトレーニング（模擬記者会見）

◇受講者の声

- ・ 非常時における対応を模擬体験し、注意する点などを教えていただき、とても参考になりました。
- ・ 緊張感と楽しさのある内容であったという間の1日でした。

【オンライン】 合同・監督者セミナー(課題解決)

● 研修のねらい

- ・ 監督者（グループリーダー・係長、課長補佐等）のマネジメント能力を高める。
- ・ 業務上発生する問題の発見・抽出及び解決のための手法を、ビジネスデザイン法（あるべき姿を明確にし、現実を把握した上で、その両者のギャップを埋めるためにどうするかを発想する手法）を用いて習得する。

● この研修のおすすめポイント

講師は広大名誉教授。「人をコストとみなしていた」ブラック企業経営者から心機一転、「人を大切に作る経営学会」の副会長に。野球選手や著名人の知られざる一面を交えた、他とは一味違う「飽きない」講義が魅力。
受講後は新たな視点で課題解決に取り組めること間違いなし。

● 日程

- 第1回 令和6年11月5日（火）
- 第2回 令和6年11月8日（金）

● 予定人員

40人（25端末程度）×2回 計80人（県20人、市町60人）

● 対象者

- （県） グループリーダー、係長、主査及びこれに相当する職以上にある職員
- （市町） 係長及び係長相当職（専門員、企画員等）以上の職員〔係長等歴概ね5年以上〕

● 講師（予定）

《法政大学 井上 善海》

大学卒業後、会社経営、経営コンサルタントを経て大学院へ進学。博士（商学）。2004年広島大学大学院教授、2013年東洋大学教授、2015年広島大学名誉教授、2018年より法政大学大学院政策創造研究科教授、法政大学大学院中小企業研究所所長。企業の事業戦略に関する指導・講演・執筆活動や、企業内研修・自治体職員研修の講師などでも活躍中。著書に、『負けない戦略』（中央経済社）など多数。

● 標準プログラム

- 1日 合計6.0時間
- 9:15 - 9:30 オリエンテーション
- 9:30 - 16:30
 - ・ 課題解決のための「問題の見える化」
 - ・ ビジネスデザイン法による課題解決
 - ・ 課題解決のための「真因の抽出」
 - ・ 3分割法による課題解決

◇受講者の声

- ・ 軽妙な語りかけで、簡単明瞭にことを解説していただいたのでわかりやすかった。
- ・ 課題解決に向けての方法など具体的な事例を交えて教えていただいたので理解ができた。

【集合】 合同・監督者セミナー(メンタルヘルス)

● 研修のねらい

- ・ 監督者（グループリーダー・係長、課長補佐等）のマネジメント能力を高める。
- ・ 職場環境整備の観点から部下のストレスに気づくためのポイントを学ぶとともに、職員のメンタルヘルス不調の早期発見や職場復帰などラインケアの方法を習得する。

● この研修のおすすめポイント

- ・ 職場の雰囲気をよくしたい方や、メンタルヘルス不調者への対応方が分からない方におすすめ。
- ・ 部下をメンタルヘルス不調にさせないための、具体的な方法を身に付けることができます。

● 日程・開催場所

第1回 令和6年1月17日（金） 福山会場

第2回 令和6年1月23日（木） 自治総合研修センター（光町庁舎）

● 予定人員

45人×2回 計90人（県16人、市町74人）

● 対象者

（県） グループリーダー、係長、主査及びこれに相当する職以上にある職員

（市町） 係長及び係長相当職（専門員、企画員等）以上の職員〔係長等歴概ね5年以上〕

● 講師（予定）

《メンター・クラフト 葛西 伸一》

株式会社メンター・クラフト代表取締役。メンタルケア心理士/メンタルヘルス・マネジメントⅡ種/豪州ボンド大学MBA（経営学修士）。大学卒業後、大手エレクトロニクス商社に勤務。その後、伊藤忠グループ企業を経て2007年に株式会社メンター・クラフト設立。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・ ラインケアとセルフケア

- ・ 心の病気とは
- ・ ストレス要因を考える
- ・ 早期発見（異変に気づく）
- ・ 適切な対処
- ・ 職場復帰する仲間の受け入れ方

◇受講者の声

- ・ メンタル不調は、誰でもなりえるのは何故か、ということがよくわかった。
- ・ とてもいい研修でした。もっと早くに受講しておけばよかったと思いました。
- ・ 講師の先生が、身近な事例や経験を話していただき分かり易かったです。

【オンライン】 合同・監督者セミナー(タイムマネジメント)

● 研修のねらい

- ・ 監督者（グループリーダー・係長、課長補佐等）のタイムマネジメント能力を高める。
- ・ 部下に業務を指示する立場として、チーム全体の仕事を段取りよく進め、生産性の向上を図り、最適な業務成果を引き出すため、効果的・効率的に時間を使う方法を習得する。

● この研修のおすすめポイント

- ・ 改善したいことに忙しくて取り組めない
- ・ 「チームで効率よく働き皆で達成感を味わいたい」すべての方、チームの時間管理方法が学べます。

● 日程

- 第1回 令和6年11月11日（月）
- 第2回 令和6年11月12日（火）

● 予定人員

50人（32端末程度）×2回 計100人（県20人、市町80人）

● 対象者

- （県） グループリーダー、係長、主査及びこれに相当する職以上にある職員
- （市町） 係長及び係長相当職（専門員、企画員等）以上の職員〔係長等歴概ね5年以上〕

● 講師（予定）

《日本経営協会 山口 貞利》

大学卒業後、株式会社千趣会に入社。企画部、商品開発部、人事企画、人事部を歴任。現在は日本経営協会講師として多くの企業・団体等で活躍中。特定社労士としての労働法の知識と現場の労働問題解決の経験を活かした実践的研修に定評がある。研修という世界を超えて残業削減を理論だけではなく実践的に実現を目指す外部人事アドバイザー。また、ICF認定コーチとして管理職等のコーチング能力開発で業務効率をアップを図る。

● 標準プログラム

- 1日 合計6.0時間
- 9:15 - 9:30 オリエンテーション
- 9:30 - 16:30
 - ・ タイムマネジメントとは
 - ・ タイムマネジメントに必要なスキル
 - ・ タイムマネジメントを職場全体で進めるためには

◇受講者の声

- ・ 自分自身のタイムマネジメントに加え、組織、監督者としてのタイムマネジメントの考え方、仕事の順位の考え方がよく理解できたと思います。
- ・ 部下への指示命令の出し方は大変勉強になった。
部下が適切な仕事ができるかは、上司の指示命令の出し方にかかっている。

【集合】 合同・監督者セミナー(インバケット)

● 研修のねらい

- ・監督者（グループリーダー・係長、課長補佐等）のマネジメント能力を高める。
- ・多様なタスクを、限られた時間で効率よく処理するための判断力を向上させ、職員や組織を活用して成果を上げるための行動力・コミュニケーションスキルを修練する。

● この研修のおすすめポイント

短期間で無理難題を突き付けられるシュミレーションゲームを通して、自分の思考のクセを発見し、判断力養成と対処法を学びます。昨年講義後に質問の長蛇の列ができた人気講師の講義を今年も実施！

● 日程・開催場所

- 第1回 令和6年11月21日（木） 自治総合研修センター（光町庁舎）
- 第2回 令和6年11月22日（金） 福山会場

● 予定人員

50人×2回 計100人（県50人、市町50人）

● 対象者

- （県） グループリーダー、係長、主査及びこれに相当する職以上にある職員
- （市町） 係長及び係長相当職（専門員、企画員等）以上の職員〔係長等歴概ね5年以上〕

● 講師（予定）

《インバケット研究所 丸山 広大》

大学院博士後期課程で歴史学、教育学を学び、進学塾等教育機関で数百名の受験を指導、受験用参考書・模擬試験等数多くの教育コンテンツ開発に従事。2011年より、培った指導力を生かし人工透析専門の医療機関で人材育成等に携わる。2013年(株)インバケット研究所入社。

講師として多数の企業研修実績を有し、年間総受講者は千名以上、担当研修の受講者満足度96%。また、コンテンツ開発や採点を担う運営開発グループのマネジメントを行い、数多くのインバケットコンテンツ開発に日々取り組む。

● 標準プログラム

- 1日 合計6.0時間
- 9:25 - 9:30 オリエンテーション
- 9:30 - 16:30 ・インバケット研修

【集合】市町・人事評価

● 研修のねらい

- ・管理監督者として人事評価制度の本質を理解し、評価の際の留意点などを学ぶ。
- ・公正な人事評価のために、目標設定と評価、面談の留意点等を習得する。

● 日程・開催場所

令和6年5月15日（水） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

44人

● 対象者

（市町）人事評価制度の評価者（制度担当者を含む）

● 講師（予定）

《人事経済研究所 シニアコンサルタント 宮澤 克己》

国、地方自治体、独立行政法人等を対象に、人事評価制度の構築導入と運用、人事・給与制度改革、行政評価制度の導入と運用、総合計画策定、行財政改革などのコンサルティング活動と教育研修に従事している。市町村アカデミーにおいて人事評価制度の改善・活用についての研修講師を務めている。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

- 9:30 - 16:30
- ・地方公務員法と人事評価制度
 - ・業績評価・目標設定の留意点
 - ・能力評価の留意点
 - ・人事評価の面談と留意点
 - ・面談技法

◇受講者の声

- ・即、目標管理シートの作成時に活用できます。自分自身の目標管理作成に、そして部下の目標管理シートの作成にあたり、ポイントが伝えられるということ。
- ・職員の状況を正確に把握するためにも、まずは職員が求められる、職位に応じた目標を上司と職員の双方で共通認識を持って設定することが肝心だということが理解できた。

【オンライン＋集合】 合同・自治体経営改革セミナー

● 研修のねらい

・人材育成方策や人事制度の確立、権限移譲への対応などの行政課題をテーマに、先進的事例等を学び、各自治体における行財政改革の実務面での取組を促進する。

● 日程・開催場所
別に通知します。

● 予定人員
50人×2回 計100人（県20人、市町80人）

● 対象者
（県・市町）それぞれの回で設定したテーマに応じた職員

● 講師（予定）

別に通知します。

● 標準プログラム
1日 合計2.0～4.0時間
別に通知します。

・このセミナーは、「人事管理研究会」（自治総合研修センター）及び「広島県市町経営改革研究会」（県地域政策局）と連動して実施します。

【オンライン】 合同・管理者特別(講演)

● **研修のねらい**

・ 行政を取り巻く社会情勢の変化に即し、政策決定に必要な視野の拡大を図る。

● **日程**

第1回 別に通知します。

第2回 別に通知します。

● **予定人員**

160人×2回 計320人（県280人、市町40人）

● **対象者**

（県） 本庁の課長以上の職員、地方機関の長（支所長、分室長、事業所長を含む）

（市町） 課長以上の職員

● **講師（予定）**

第1回 別に通知します。

第2回 別に通知します。

● **標準プログラム**

1日 合計1.5時間

別に通知します。